

表1 災害要因分析シート

© 1994 沼野労働安全衛生コンサルタント事務所

I 災害	II 事故	III 起因物件	IV 直接原因	V 間接原因	VI 対策
<p>障害部位</p> <p>頭、顔、目、鼻、口、耳、肩、頸、腕、脚、足、手、手指、足指、体幹、内臓、皮膚、粘膜、全身 その他()</p>	<p>人的事故</p> <p>(A) 人の動きによる事故</p> <p>(1) 転倒 (2) 墜落、転落 (3) 衝突 (4) はさまれ (5) 巻き込まれ (6) 切れ (7) こすれ その他()</p> <p>(B) 物の動きによる事故</p> <p>(1) 異物の飛込み (2) 衝突 (3) 物体の落下 (4) 物体の倒塌 (5) 交通事故 (6) 振動障害 その他()</p>	<p>機械的エネルギーによるもの</p> <p>(1) 原動機 (2) 動力伝達装置 (3) 製造機械 (4) 工作機械 (5) 圧縮機 (6) 揚重機 (7) 運搬機械 (8) 建設機械 (9) 産業ロボット (10) 手持工具 (11) 重量物 (12) 被加工物 (13) 切り粉 (14) 飛来、落下物 (15) 建造物 (16) 作業床、足場 その他()</p> <p>電気的エネルギーによるもの</p> <p>(1) 電気機器 (2) 電気配線 (3) 静電気</p> <p>熱エネルギーによるもの</p> <p>(1) 低温物体 液化ガス ドライアイス (2) 高温物体 溶融金属、水蒸気 灼熱物体、火炎 (3) 危険物 一般可燃物 引火性液体 可燃性ガス 発火性物質 爆発物</p> <p>化学的エネルギーによるもの</p> <p>(1) 毒劇物 (2) 有害物質 (3) 酸素欠乏</p> <p>放射エネルギーによるもの</p> <p>(1) エネルギー (2) X線発生装置 (3) 放射性物質 (4) 騒音機械等</p>	<p>物的原因 (不安全状態)</p> <p>(1) 作業環境の不備 レイアウトの不良 機械の間隔が狭い (4) 工具が利かない 整理整頓の不良 照明不十分 (7) 運搬機械 換気不良、暑熱 騒音レベルが高い</p> <p>(2) 通路の欠陥 狭すぎる、 滑りやすい、 段差、突起物、放置物 見通しが利かない 足場の材質、構造の不良</p> <p>(3) 防護設備の欠陥 防護設備がない 防護設備の構造的欠陥 防護設備の機能的欠陥 施設不完全</p> <p>(4) 警戒設備の欠陥 危険区域の設定不適当 危険の表示なし 危険の表示不明確 その他()</p> <p>人的原因 (不安全状態)</p> <p>(1) 作業手順を守らない (2) 作業手順を知らない (3) 運転中の機械の手入れ (4) 安全装置の取外し、機能停止 (5) 不適当な器具、工具の使用 (6) 器具、工具の不使用(手の使用) (7) 保護具の不使用 (8) 保護具の使用法の誤り (9) 不適当な保護具の使用 (10) 整理整頓の不良 (11) 無理な姿勢での作業 (12) 無理な速度での作業 (13) 走った、跳んだ、飛び乗り、飛び降り (14) 指示連絡不十分、合図の誤認 (15) 思い違い、勘違い、指示誤認 (16) あせり、とっさに手が出た (17) うっかり、ほんやり (18) 悪ふざけ、いたずら その他()</p>	<p>(A) 技術的原因</p> <p>(1) 設備等の設計不良 (2) 構造材料の不適當 (3) 点検保全の不十分 (4) 不安全行動を誘う技術的欠陥 (5) 作業手順の検討不十分 (6) 安全作業手順の未確立 (7) 安全対策の未実行</p> <p>(B) 教育的原因</p> <p>(1) 安全知識の欠陥 (2) 安全教育未実施 (3) 安全教育不十分 (4) 安全規程の誤解 (5) 安全規程の軽視 (6) 経験不足、技能未熟 (7) 不安全な作業習慣</p> <p>(C) 身体的原因</p> <p>(1) 疾病による体調不良 (2) 過度のストレス (3) 過労、睡眠不足 (4) 酒酔い、薬物中毒 (5) 近視、難聴、色覚異常 (6) 体力不足、体格不適</p> <p>(D) 精神的原因</p> <p>(1) 反抗的な態度 (2) 精神的不安定 (3) 知覚的欠陥(反応遅鈍) (4) 性格的欠陥(頑固、偏狭) (5) モラルの低下</p> <p>(E) 管理的原因</p> <p>(1) 最高責任者の責任感欠如 (2) 中間管理者の責任感欠如 (3) 第一線監督者の責任感欠如 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の不備 (6) 作業手順書の不備 (7) 点検制度の欠陥 (8) 対策実施遅延の放置 (9) 人事管理、適正配置の欠陥 (10) 工期、行程の無理・不備</p>	<p>(A) 技術的対策</p> <p>(1) 設備等の設計変更 (2) 作業環境の改善 (3) 作業工程の見直し (4) 点検保全制度の確立 (5) 安全作業手順の確立</p> <p>(B) 教育的対策</p> <p>(1) 安全教育の実施 (2) 安全教育の徹底 (3) 作業方法の訓練</p> <p>(C) 身体的対策</p> <p>(1) 保健指導の実施 (2) 監督者による生活指導と健康KYの励行 (3) 配置転換</p> <p>(D) 精神的対策</p> <p>(1) 人間関係の向上 (2) 厳正な規律の保持 (3) 信賞必罰 (4) 配置転換 (5) モラルの向上</p> <p>(E) 管理的対策</p> <p>(1) 企業の社会的責任の認識 (2) 管理監督者の責任自覚 (3) 管理監督者の指導力向上 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の改善 (6) 作業手順書の成文化・改善 (7) 点検制度の改善 (8) 信賞必罰、勤労意欲の向上 (9) 人事管理の改善、適正配置 (10) 工程管理の改善</p>
<p>障害の種類</p> <p>骨折、脱臼、捻挫、挫傷、筋違ひ、擦り傷、切り傷、刺し傷、火傷、凍傷、中毒、窒息、酸欠 その他()</p>	<p>(C) 接触吸収による事故</p> <p>(1) 電気 (2) 高温物体 (3) 低温物体 (4) 暑熱・寒冷 (5) 有毒ガス (6) 酸素欠乏 (7) 電離放射線 (8) 有害光線 (9) レーザー光線 (10) 騒音 (11) 異常気圧 その他()</p> <p>物的事故</p> <p>(1) 落下 (2) 崩壊・倒塌 (3) 飛散 (4) 切断・折損 (5) 変形・変質 (6) 脱線 (7) 漏洩・噴出 (8) 破裂・爆発 (9) 火災 (10) 過熱・焼損 (11) 漏電 (12) 停電 その他()</p>	<p>無障害事故</p> <p>(7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)</p>			

1
1

表2 災害要因分析シート (食品製造加工業)

© 1994 沼野労働安全衛生コンサルタント事務所

I 災害	II 事故	III 起因物件	IV 直接原因	V 間接原因	VI 対策
障害部位 頭、顔、目、鼻、口、耳、肩、頸、腰、腕、脚、足、手、手指、足指、体幹、内臓、皮膚、粘膜、全身その他()	人的事故 (A) 人の動きによる事故 (1) 転倒 (2) 墜落、転落 (3) 衝突 (4) はさまれ (5) 巻き込まれ (6) 切れ、こすれ (7) 腰のひねり その他() (B) 物の動きによる事故 (1) 異物の飛込み (2) 激突 (3) 物体の落下 (4) 物体の倒壊 (5) 交通事故 (6) 振動障害 その他()	機械的エネルギーによるもの (1) スライサー(丸刃、ワンホール) (2) 挽肉機 (3) 包装機・値付機 (4) 二枚おろし機 (5) 切り身機 (6) 塩水処理機 (7) 冷蔵庫(室)扉 (8) コンベアー (9) フォークリフト・ハンドフォーク (10) スタッカクレーン (11) エレベーター・簡易リフト (12) 台車・かご車 (13) 洗浄機 (14) 包丁・カッター・はさみ (15) 原料・製品 (16) 作業床、通路 その他() 電気的エネルギーによるもの (1) 電気機器 (2) 電気配線 (3) 静電気 熱エネルギーによるもの (1) 低温物体 液化ガス ドライアイス (2) 高温物体 溶融金属、水蒸気 灼熱物体、火炎 (3) 危険物 一般可燃物 引火性液体 可燃性ガス 発火性物質 爆発物 化学的エネルギーによるもの (1) 毒劇物 (2) 有害物質 (3) 酸素欠乏 放射エネルギーによるもの (1) X線発生装置 (2) X線発生装置 (3) 放射線物質 (4) 騒音機械等	物的原因(不安全状態) (1) 作業環境の不備 レイアウトの不良 機械の間隔が狭い 見通しが悪い 整理整頓の不良 照度不十分 換気不良、暑熱 騒音レベルが高い (2) 通路の欠陥 狭すぎる、 滑りやすい、 段差、突起物、放置物 見通しが利かない 足場の材質、構造の不良 (3) 防護設備の欠陥 防護設備がない 防護設備の構造的欠陥 防護設備の機能的欠陥 施設不完全 鍵の保管体制の不備 (4) 警戒設備の欠陥 危険区域の設定不適當 危険の表示なし 危険の表示不明確 (5) 作業工程、作業方法の危険 その他() 人的原因(不安全状態) (1) 作業手順を守らない (2) 作業手順を知らない (3) 運転中の機械の手入れ (4) 安全装置の取外し、機能停止 (5) 不適當な器具、工具の使用 (6) 器具、工具の不使用(手の使用) (7) 保護具の不使用 (8) 保護具の使用方法的誤り (9) 不適當な保護具の使用 (10) 整理整頓の不良 (11) 無理な姿勢での作業 (12) 無理な速度での作業 (13) 走った、跳んだ、飛び乗り、飛び降り (14) 指示連絡不十分、合図の誤認 (15) 思い違い、勘違い、指示誤認 (16) あせり、とっさに手が出た (17) うっかり、ぼんやり (18) 悪ふざけ、いたづら その他()	[A] 技術的原因 (1) 設備等の設計不良 (2) 構造材料の不適當 (3) 点検保全の不十分 (4) 不安全行動を誘う技術的欠陥 (5) 作業手順の検討不十分 (6) 安全作業手順の未確立 (7) 安全対策の未実行 [B] 教育的原因 (1) 安全知識の欠除 (2) 安全教育未実施 (3) 安全教育不十分 (4) 安全規程の誤解 (5) 安全規程の軽視 (6) 経験不足、技能未熟 (7) 不安全な作業習慣 [C] 身体的原因 (1) 疾病による体調不良 (2) 過度のストレス (3) 過労、睡眠不足 (4) 酒酔い、薬物中毒 (5) 近視、難聴、色覚異常 (6) 体力不足、体格不適 [D] 精神的原因 (1) 反抗的な態度 (2) 精神的不安定 (3) 知覚的欠陥(反応遅鈍) (4) 性格的欠陥(頑固、偏狭) (5) モラルの低下 [E] 管理的原因 (1) 最高責任者の責任感欠如 (2) 中間管理者の責任感欠如 (3) 第一線監督者の責任感欠如 (4) 安全衛生管理体制の欠陥 (5) 安全衛生管理規程の不備 (6) 作業手順書の不備 (7) 点検制度の欠陥 (8) 対策実施遅延の放置 (9) 人事管理、適正配置の欠陥 (10) 工期、行程の無理・不備	[A] 技術的対策 (1) 設備等の設計変更 (2) 作業環境の改善 (3) 作業工程の見直し (4) 点検保全制度の確立 (5) 安全作業手順の確立 [B] 教育的対策 (1) 安全教育の実施 (2) 安全教育の徹底 (3) 作業方法の訓練 [C] 身体的対策 (1) 保健指導の実施 (2) 監督者による生活指導と健康KYの励行 (3) 配置転換 [D] 精神的対策 (1) 人間関係の向上 (2) 厳正な規律の保持 (3) 信賞必罰 (4) 配置転換 (5) モラルの向上 [E] 管理的対策 (1) 企業の社会的責任の認識 (2) 管理監督者の責任自覚 (3) 管理監督者の指導力向上 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の改善 (6) 作業手順書の成文化・改善 (7) 点検制度の改善 (8) 信賞必罰、働意欲の向上 (9) 人事管理の改善、適正配置 (10) 工程管理の改善
障害の種類 骨折、脱臼、捻挫、挫傷、腰痛、筋違い、擦り傷、切り傷、刺し傷、火傷、凍傷、中毒、窒息、酸欠その他()	(C) 接触吸収による事故 (1) 電気 (2) 高温物体 (3) 低温物体 (4) 暑熱・寒冷 (5) 有毒ガス (6) 酸素欠乏 (7) 電離放射線 (8) 有害光線 (9) レーザー光線 (10) 騒音 (11) 異常気圧 その他() 物的事故 (1) 落下 (2) 崩壊・倒壊 (3) 飛散 (4) 切断・折損 (5) 変形・変質 (6) 脱線 (7) 漏洩・噴出 (8) 破裂・爆発 (9) 火災 (10) 過熱・焼損 (11) 漏電 (12) 停電 その他()	障害の程度 (1) 死亡 (2) 永久全労働不能 (障害等級1~3級) (3) 永久後遺障害 (障害等級4~14級) (4) 休業4日以上 (5) 休業4日未満 (6) 不休業 無障害事故 (7) 物的損害のみ (8) 無災害事故 (ひやり、はっと)	(1) 作業環境の不備 レイアウトの不良 機械の間隔が狭い 見通しが悪い 整理整頓の不良 照度不十分 換気不良、暑熱 騒音レベルが高い (2) 通路の欠陥 狭すぎる、 滑りやすい、 段差、突起物、放置物 見通しが利かない 足場の材質、構造の不良 (3) 防護設備の欠陥 防護設備がない 防護設備の構造的欠陥 防護設備の機能的欠陥 施設不完全 鍵の保管体制の不備 (4) 警戒設備の欠陥 危険区域の設定不適當 危険の表示なし 危険の表示不明確 (5) 作業工程、作業方法の危険 その他() 人的原因(不安全状態) (1) 作業手順を守らない (2) 作業手順を知らない (3) 運転中の機械の手入れ (4) 安全装置の取外し、機能停止 (5) 不適當な器具、工具の使用 (6) 器具、工具の不使用(手の使用) (7) 保護具の不使用 (8) 保護具の使用方法的誤り (9) 不適當な保護具の使用 (10) 整理整頓の不良 (11) 無理な姿勢での作業 (12) 無理な速度での作業 (13) 走った、跳んだ、飛び乗り、飛び降り (14) 指示連絡不十分、合図の誤認 (15) 思い違い、勘違い、指示誤認 (16) あせり、とっさに手が出た (17) うっかり、ぼんやり (18) 悪ふざけ、いたづら その他()	[A] 技術的原因 (1) 設備等の設計不良 (2) 構造材料の不適當 (3) 点検保全の不十分 (4) 不安全行動を誘う技術的欠陥 (5) 作業手順の検討不十分 (6) 安全作業手順の未確立 (7) 安全対策の未実行 [B] 教育的原因 (1) 安全知識の欠除 (2) 安全教育未実施 (3) 安全教育不十分 (4) 安全規程の誤解 (5) 安全規程の軽視 (6) 経験不足、技能未熟 (7) 不安全な作業習慣 [C] 身体的原因 (1) 疾病による体調不良 (2) 過度のストレス (3) 過労、睡眠不足 (4) 酒酔い、薬物中毒 (5) 近視、難聴、色覚異常 (6) 体力不足、体格不適 [D] 精神的原因 (1) 反抗的な態度 (2) 精神的不安定 (3) 知覚的欠陥(反応遅鈍) (4) 性格的欠陥(頑固、偏狭) (5) モラルの低下 [E] 管理的原因 (1) 最高責任者の責任感欠如 (2) 中間管理者の責任感欠如 (3) 第一線監督者の責任感欠如 (4) 安全衛生管理体制の欠陥 (5) 安全衛生管理規程の不備 (6) 作業手順書の不備 (7) 点検制度の欠陥 (8) 対策実施遅延の放置 (9) 人事管理、適正配置の欠陥 (10) 工期、行程の無理・不備	[A] 技術的対策 (1) 設備等の設計変更 (2) 作業環境の改善 (3) 作業工程の見直し (4) 点検保全制度の確立 (5) 安全作業手順の確立 [B] 教育的対策 (1) 安全教育の実施 (2) 安全教育の徹底 (3) 作業方法の訓練 [C] 身体的対策 (1) 保健指導の実施 (2) 監督者による生活指導と健康KYの励行 (3) 配置転換 [D] 精神的対策 (1) 人間関係の向上 (2) 厳正な規律の保持 (3) 信賞必罰 (4) 配置転換 (5) モラルの向上 [E] 管理的対策 (1) 企業の社会的責任の認識 (2) 管理監督者の責任自覚 (3) 管理監督者の指導力向上 (4) 安全衛生管理体制の改善 (5) 安全衛生管理規程の改善 (6) 作業手順書の成文化・改善 (7) 点検制度の改善 (8) 信賞必罰、働意欲の向上 (9) 人事管理の改善、適正配置 (10) 工程管理の改善